

若年層からの多重債務相談について

一般社団法人生活サポート基金
(東京都多重債務者生活再生事業相談窓口)

1 新規相談における若年層の割合が増加傾向にある

表 1 新規相談者の年代別内訳

	R1 (N=1066)	R2 (N=807)	R3 (N=945)	R4 (N=1131)	R5 (N=1161)
20代以下	9%	10%	13%	16%	15%
30代	16%	16%	15%	19%	19%
40代	23%	23%	23%	21%	19%
50代	27%	26%	26%	22%	23%
60代以上	26%	25%	23%	22%	24%

表 2 最近の新規相談の状況

	令和 2 年 4月-12月	令和 6 年 4月-12月
全世代	566	972
20代以下	55 10%	140 14%
50代	154 27%	238 24%

2 若年層は他の年代に比べて、浪費により借金が膨らむ例が多く見られる

表 3 借入の動機別割合

借入の動機 ※ 複数回答	20代以下					(参考) 50代				
	令和 2 年 4月-12月 (新規相談者55人)		令和 6 年 4月-12月 (新規相談者140人)		割合変化状況	令和 2 年 4月-12月 (新規相談者154人)		令和 6 年 4月-12月 (新規相談者238人)		割合変化状況
内 容	件数	割合	件数	割合		件数	割合	件数	割合	
遊興費・交際費	12	21.8%	45	32.1%	10.3%	14	9.1%	37	15.5%	6.5%
ギャンブル	4	7.3%	19	13.6%	6.3%	3	1.9%	22	9.2%	7.3%
物品購入	26	47.3%	54	38.6%	-8.7%	41	26.6%	70	29.4%	2.8%
突発的出費	1	1.8%	21	15.0%	13.2%	7	4.5%	32	13.4%	8.9%
教育費	12	21.8%	14	10.0%	-11.8%	19	12.3%	26	10.9%	-1.4%
借金返済・保証債務	11	20.0%	17	12.1%	-7.9%	34	22.1%	27	11.3%	-10.7%
家計補助・低収入	25	45.5%	61	43.6%	-1.9%	72	46.8%	101	42.4%	-4.3%
収入減少・失業	20	36.4%	48	34.3%	-2.1%	55	35.7%	97	40.8%	5.0%
事業資金	2	3.6%	4	2.9%	-0.8%	19	12.3%	33	13.9%	1.5%
悪質商法	3	5.5%	18	12.9%	7.4%	2	1.3%	15	6.3%	5.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	0.6%	2	0.8%	0.2%
その他	8	14.5%	21	15.0%	0.5%	27	17.5%	22	9.2%	-8.3%
その他の内容	家賃支払い1、転居5、留学1、占い1		医療費2、転居4、投資2、家族知人支援4、美容・脱毛費用3、更新料1、占い1、カード現金化1、慰謝料1、免許取得1、家出1			医療費10、転居5、投資1、家族知人支援3、家賃・住宅購入・修繕4、離婚2、ベット1、保育1		医療・介護費用2、転居2、家族知人支援3、住宅購入・更新料5、カード現金化1、納税・返還金3、投資1、訴訟1、法テラス1、事故補償1、エステ・ジム2		

3 若年層の相談から感じること

消費者環境の変化

- SNS等により入手できる情報量が膨大に
 - ・ 美容系 ・ 出会い系 ・ ゲーム ・ 投資
 - ・ マルチ ・ 自己啓発 ・ 地下アイドル 等
- ネット上で様々な事が常時できるように
 - ・ 推し活 ・ ゲーム ・ 競馬等ギャンブル
 - ・ 占い ・ 自己啓発 ・ オンラインカジノ 等
- 期間限定や射幸性のある商品が身近に
 - ・ ゲーム×アイドル、アニメ×カフェなどのコラボ企画
 - ・ コンビニくじ 等

多重債務に至るケース

- SNSや友人からの情報 ⇒ 信じて詐欺にあう
 - 借りができるアプリ
 - 後払いサービス（BNPL）
 - 携帯キャリア決済など
- } ⇒ 簡単なので
こまごまと
借りてしまう

4 若年層相談への対応

- （１）まずは現状を立て直そう、という視点での声掛け、提案
- （２）他と同じく、一人の大人として接し、相談者が自ら決断して実行できるような提案を行う
（社会経験が少ないこと、知識が不足していることから、より丁寧な説明が必要）
- （３）親との関係が悪い場合や親の対応に問題があると思われる場合は、親との調整や親への助言も

相談員として、次々と出現する新しいサービスや事象に対して、情報収集と勉強が必要